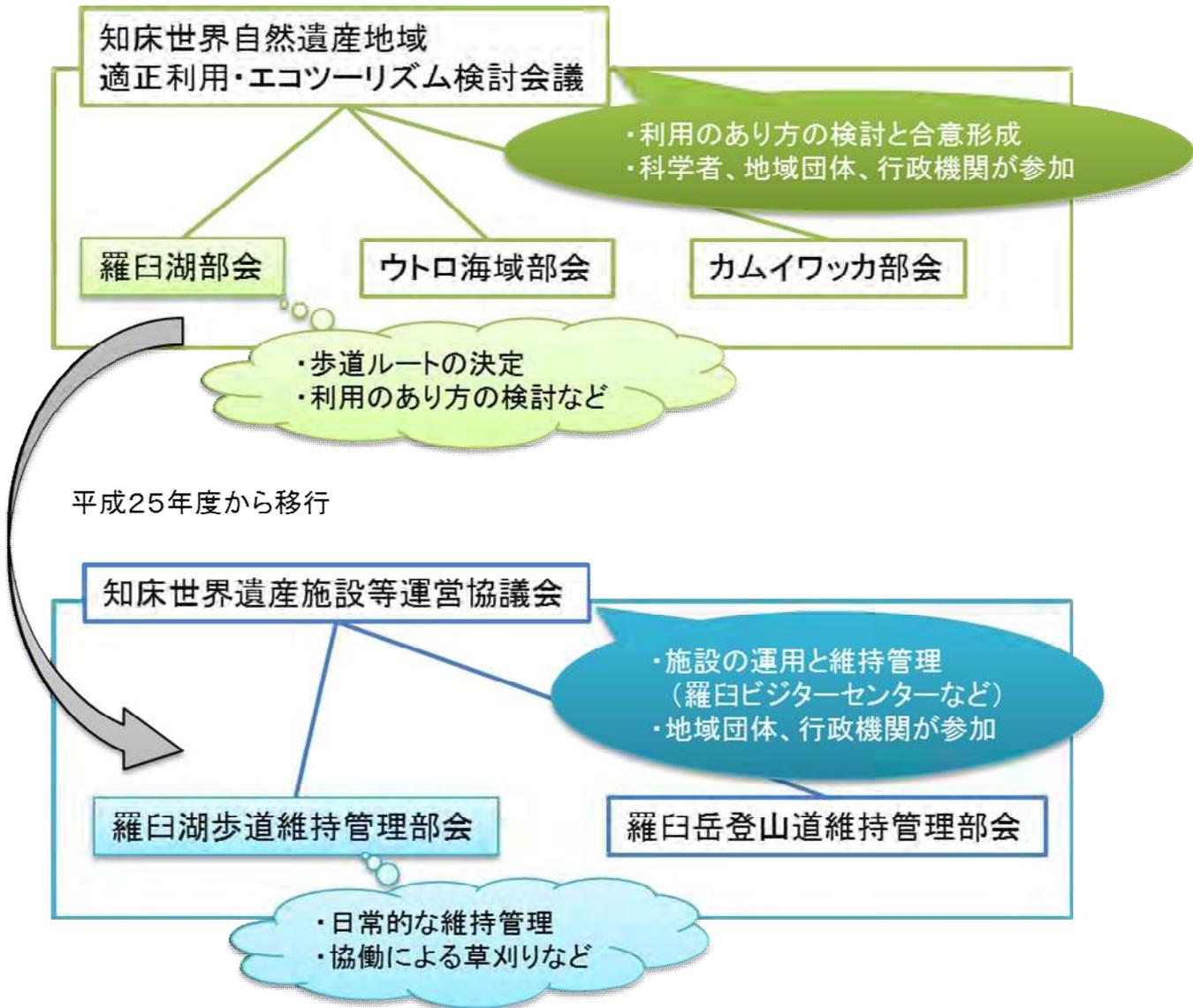


羅臼湖歩道の維持管理について

1. 平成25年度以降の維持管理体制について

- 「知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議 羅臼湖部会」は平成24年度中に解散することを想定。平成25年度からは「知床世界遺産施設等運営協議会」に「羅臼湖歩道維持管理部会」を設置し、歩道の維持管理を行うこととしたい。
- 「羅臼湖歩道維持管理部会」は知床羅臼町観光協会、羅臼町・知床世界自然遺産協議会、知床ガイド協議会、知床エコツーリズム推進協議会、羅臼山岳会、(財)知床財団、羅臼町、釧路自然環境事務所、根釧東部森林管理署、根室振興局で構成し、協働により歩道の維持管理を実施する。なお、事務局は羅臼町が務める。



2. 想定される維持管理作業について

専門的な技術の必要な歩道の補修については今後とも行政機関が実施するが、以下の日常的な歩道の維持管理については地元関係者との協働により進めていきたい。

○巡視

木道や看板等の破損・異常の有無、利用による植生の荒廃の有無、倒木・落枝等の有無、利用者への情報提供、清掃など

○ササ刈り、枝払い

歩行の際に支障となるササ等の刈り払い

○簡易な補修

踏み板等の応急措置、破損箇所の注意喚起など

○植生保全対策

立入禁止ロープの設置、歩道の浸食防止など